

模擬服薬体験の教育効果に関する研究のお知らせ

帝京大学薬学部では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年10月23日～2023年3月31日

〔研究課題〕

薬学部学生に対する模擬服薬体験学習の教育効果

〔研究目的〕

大学入学直後の学生の多くは慢性的な疾患などを有してはならず、長期にわたる服薬を経験したことがないと考えられます。薬を間違いなく飲めるようにするための指導には、実際に服薬したことのある経験が重要であると考えます。本研究では、授業の一環として模擬服薬体験を実施し、収集した服薬体験の遵守率やアンケート結果を後ろ向きに解析することにより、薬学部学生に対する模擬服薬体験の学習効果を明らかとすることを目的とします。

〔研究意義〕

この教育方法を調査することにより、薬学部学生のコミュニケーション教育のさらなる充実を目指します。

〔対象・研究方法〕

2018年度、2019年度に薬学部2年次科目、医療コミュニケーション1を受講した学生全員を対象とします。模擬服薬体験の結果、および体験実習の前後で実施したアンケート調査の記録を用いて、知識や意識変化があったかなど統計的手法を用いて解析します。解析するデータは匿名化を行い、調査協力の有無が、成績の評価には反映しません。

〔研究機関名〕

帝京大学 薬学部

〔個人情報の取り扱い〕

情報は適切に管理し、個人情報を保護します。解析結果と調査研究以外で使用いたしません。また、解析結果は成績に反映しません。協力拒否を希望されても、成績評価には何の影響もありません。対象となる学生で、ご自身の調査結果やアンケート結果の研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 中村 康宏（助手）

研究分担者： 丸山 桂司（准教授）

住所： 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL： 03-3964-1211（代表）〔内線 44433〕